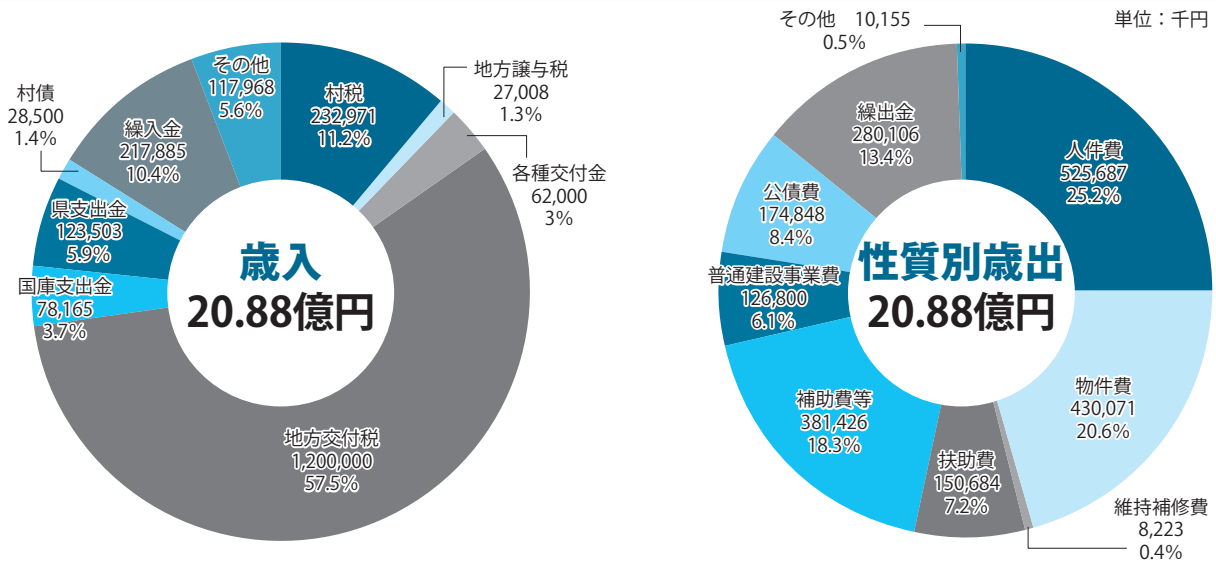


一般会計予算の状況



歳入予算の内訳

項目	金額 (千円)	割合 (%)
村 税	232,971	11.20
地 方 譲 与 税	27,008	1.30
各 種 交 付 金	62,000	3.00
地 方 交 付 税	1,200,000	57.50
国 庫 支 出 金	78,165	3.70
県 支 出 金	123,503	5.90
村 債	28,500	1.40
繰 入 金	217,885	10.40
そ の 他	117,968	5.60
合 計	2,088,000	100.00

歳出の性質別内訳

項目	金額 (千円)	割合 (%)
人 件 費	525,687	25.2
物 件 費	430,071	20.6
維 持 補 修 費	8,223	0.4
扶 助 費	150,684	7.2
補 助 費 等	381,426	18.3
普 通 建 設 事 業 費	126,800	6.1
公 債 費	174,848	8.4
繰 出 金	280,106	13.4
そ の 他	10,155	0.5
合 計	2,088,000	100.1

【歳入】

歳入には、住民税や固定資産税、使用料や財産収入など村独自の収入である「自主財源」と、地方交付税や国庫支出金、県支出金など国や県から割り当てられる収入である「依存財源」があります。本村の財源の多くは「依存財源」で、「自主財源」は約27%です。

将来に向けて基金を積み立てたり、充実したサービスを提供するためには、「自主財源」の割合を高めていく必要があります。

【歳出】

令和9年度中に供用開始予定である新庁舎の建設に関連する予算等を計上したことで予算総額は昨年度より増額となります。

また、人件費については、会計年度任用職員の制度改正により報酬・手当が増額となりましたが、一般職職員の人数が1名減少したため、全体では微減になります。

【特別会計】

村には、特定の事業から発生する特定の収入を歳出に充てて一般会計から独立して管理する特別会計があります。3つの特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険）の予算総額は、8億9,700万円で前年度と比較して2,800万円の減額となりました。

【公営企業会計】

令和4年度から、簡易水道事業・合併処理浄化槽設置管理事業は地方公会計から地方公営企業会計へ移行しました。複式簿記を採用し、資産や経営成績をより正確に把握できるようになるため、今後の事業方針に反映していきよう努めていきます。

【主要事業】

令和5年度では、昨年度と同様に「第6次東秩父村総合振興計画」に基づき、事業を進めていきます。移住体験施設「MuLife」や空き家対策補助金をはじめ、移住を視野にいれたPR等を行っていきます。また、引き続き「結婚・出産・子育て」に関連した事業（出産祝い金や小・中学校給食費無償化など）を展開、配食サービス利用日の拡充といった高齢者支援の充実にも対応していきます。さらに、今年度から新庁舎建設に向けた事業が本格的にスタートするなか、限られた財源で充実したサービスを提供できるよう取り組んでまいります。